

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	ウカイ マサキ 鵜飼 正樹
学歴	昭和56年 3月 京都大学文学部哲学科卒業 昭和59年 3月 京都大学大学院文学研究科（修士課程）社会学専攻修了 昭和62年 3月 京都大学大学院文学研究科（博士課程）社会学専攻単位取得満期退学				
学位	昭和59年 3月 文学修士（京都大学）				
専門分野	社会学、大衆文化論				
専門資格	専門社会調査士（第000317号）				
所属学会	昭和55年11月 現代風俗研究会 昭和59年 4月 関西社会学会 昭和62年10月 日本文化人類学会 平成 4年 9月 滋賀民俗学会 平成11年11月 見世物学会				
受賞	平成 6年12月 現代風俗研究会橋本峰雄賞受賞 平成24年11月 鵜飼ゼミとして、つくりもんまつりの調査・研究、地域文化の発展などの功績により、高岡市感謝状を受ける。				
担当授業科目	学 部 卒業研究演習、卒業研究演習、総合社会学基礎演習、総合社会学演習、実践人類学実習A、実践人類学実習B、ポピュラー文化論、文化社会学、社会学 ----- 大学院 現代文化研究（大衆文化論）現代文化研究演習（大衆文化論）文化人類学基礎研究法演習、文化人類学研究法演習				
論文指導	論文指導担当[主査]（卒論：1名、修士論文：0名） 論文審査担当[主査]（修士論文：0名）				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	社会学	講義・演習・実習・実験	春・秋	約160名	
	授業の概要：社会学の概説講義				
	教育活動の振り返り： 私はFD活動や授業アンケートそのものに疑問があるので、アンケートは一切じっししていません。 教育活動の成果： 特になし。 今後の課題： 大教室の講義を、しゃべりと板書だけでどこまでやれるか？				
・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特に参加していない。					
・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 何もしていない。					
H26年度研究課題	1. 大衆芸能のフィールド調査研究 2. 通訳ガイドの社会史的研究 3. 現代社会の風俗文化研究 4. 地域社会と民俗行事の研究				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

<p>平成二十六年 (2014) 年度の研究活動の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大衆芸能のフィールド調査研究に関しては、参与観察、インタビュー、資料収集による調査・研究をおこなった。なお、これまで収集した見世物関係の資料の一部が、岐阜県博物館の特別展「奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学」、および銀座・ヴァニラ画廊での「開封！安田興行社大見世物展 ～国宝？珍宝？今ひらかれる、見世物王国の扉！～」の2つの展覧会で展示された。 2. 通訳ガイドの社会史的研究に関しては、ベテランガイド、ジョー岡田さんとともに2012年に立ち上げた「Cool Kyoto Walking Tour」への参与観察とインタビューを中心とする調査を実施した。 3. 現代社会の風俗文化研究に関しては、現代風俗研究会理事として、研究会運営に携わるとともに、例会に参加し、研究活動をおこなった。また、研究成果として、「政治の顔 / 顔の政治」を『現代風俗研究会年報34号』に発表した。 後述 : (論文) 4. 地域社会と民俗行事の研究に関しては、年中行事への参加と資料収集をおこなった。
<p>平成二十六年 (2014) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「政治の顔 / 顔の政治」、単著、平成26年12月、現代風俗研究会、『現代風俗研究会年報34号』(pp.12-28) <p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「京都大学文学部哲学科社会学講座と文化人類学の微妙な関係について」、単独、平成26年9月、国際日本文化研究センター共同研究「人文諸学の科学史的研究」、国際日本文化研究センター <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>展覧会企画協力：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「特別展『奇なるものへの挑戦 明治大正 / 異端の科学』」、平成26年7月4日～8月31日、岐阜県博物館 2. 「開封！安田興行社大見世物展 ～国宝？珍宝？今ひらかれる、見世物王国の扉！～」、平成26年8月26日～9月6日、銀座・ヴァニラ画廊 <p>合評会コメンテーター：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公開合評会コメンテーター「『日本の血友病者の歴史 他者歓待・社会参加・抗議運動』を読む」、平成27年3月14日、キャンパスプラザ京都 <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>大学院文化人類学研究科長、大学運営会議委員、大学教学会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、危機管理委員会委員、キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員、人権委員会委員</p>
<p>社会における活動</p> <p>平成二十六年 (2014) 年度の</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成26年度 第10回京都新聞スクラップコンクール審査委員</p> <p>(NPO 法人等の団体への参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代風俗研究会理事「平6.12より」 ・ 見世物学会理事「平11.11より」
<p>主な研究成果等</p> <p>平成二十一年～二十五年 (2009～2013) 年度の</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「考現学 今和次郎・吉田謙吉編『モデルノロジオ』『考現学採集』」、単著、平成21年5月、世界思想社、井上俊・伊藤公雄編、社会学ベーシックス7 ポピュラー文化(239p, pp.169-178) 2. 「昭和 大衆芸能史の一面 人間ポンプを追って」、単著、平成21年8月、吉川弘文館、内田忠賢・村上忠喜共著、『日本の民俗10 都市の生活』(290p, pp.181-287) 3. 『戦後日本大衆文化』、共編著、平成22年6月、社会科学文献出版社(335p)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

(論文)

1. 「大衆演劇はグローバル化の時代をどう生き抜くか?」、単著、平成23年3月、日本国際文化学会、『インターカルチュラル』10 (pp.83-93)

(学会報告、学会活動)

1. 「『つくりもんまつり』をつくる」、単独、平成21年7月、国立民族学博物館共同研究「民俗行事における造り物の多様性」(代表者：福原敏男) 国立民族学博物館
2. 「鶴見和子文庫未公開資料から発見された生活綴方文集『私の家』」、単独、平成22年1月、科学研究費補助金(基盤研究B)「『普通の人の哲学』と『知識人の思想』の葛藤をめぐる戦後思想史 鶴見和子文庫を開く」(課題番号20320019, 研究代表者) 京都文教大学
3. 「顔の政治/政治の顔」、単独、平成22年9月、現代風俗研究会例会
4. 「考現学の眼」、単独、平成22年10月、第13回暮らしの安全安心研究会、大阪科学技術センター
5. 「『穴』の風俗 ことはじめ」、単独、平成22年12月、現代風俗研究会総会、京都精華大学
6. 「大衆演劇はグローバル化の時代をどう生き抜くか?」、単独、平成23年7月、日本国際文化学会創立10周年記念特別シンポジウム「グローバル化するポピュラーカルチャーと国際文化学」、名桜大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演:

1. 「映画解説『にっぽんの、みせものやさん』」、単独、平成25年6月、元町映画館

書評:

1. 「立石勝規『三ツ矢サイダーはなぜ生き残ったのか』(講談社)」、単著、平成21年4月、共同通信配信シンポジウム企画・司会:

1. 「鬼の踊りから祈りの踊りへ 大道芸人・ギリヤーク尼ヶ崎 40年の軌跡」、共同、平成21年5月、京都文教大学人間学研究所公開シンポジウム、五條会館
2. 「老人よ大志を抱け」、共同、平成22年3月、京都文教大学人間学研究所公開シンポジウム、京都文教中学・高等学校

公開フォーラムコメンテーター:

1. 「ドラマとシステムのまじわるところ 深田耕一郎『福祉と贈与 全身性障害者・新田勲と介護者たち』をめぐる」、平成26年2月、追手門学院大学地域文化創造機構 機関研究「文化復興と芸術創造に関する総合的研究」第3回公開フォーラム、追手門学院 大阪城スクエア

新聞連載:

1. 「サムライ日本ショー ジョー岡田が見た戦後」、単著、平成20年5月~平成21年8月、京都新聞 文化面(毎週水曜日・50回にわたり連載)

エッセイ:

1. 「見世物小屋の呼び込み口上 舌先三寸でコマす」、単著、平成25年4月、『月刊みんぱく』第37巻第4号(pp.6-7)

その他:

1. 「解題 講演記録 鶴見和子『現代思想と生活記録運動』」、単著、平成25年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究Vol.13(pp.1-29)

(調査活動)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

1. 平成20年度-平成22年度
科学研究費補助金(基盤研究B)「『普通の人の哲学』と『知識人の思想』の葛藤をめぐる戦後思想史 鶴見和子文庫を開く」(課題番号20320019) 研究代表者
2. 平成23年 4月-平成24年 3月(助成期間)
平成22年度日産財団研究助成社会学分野「ニッポンを伝える 通訳ガイドのライフストーリーとその『芸』」研究代表者

平成二十一〜二十五(2009~2013)年度の主な研究成果等

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の 主な研究成果等</p>	<p>(学内活動)</p> <p>平成17年 4月 社会調査士委員会委員「平23.3まで」 平成19年 4月 チャカル編集長「平24.3まで」 平成20年 4月 人間学研究所所長「平22.3まで」 平成22年 4月 自己点検・大学院委員会委員「現在に至る」 平成23年 4月 大学院文化人類学研究科長「現在に至る」 大学運営会議委員「現在に至る」 大学教学会議委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平24.3まで」 危機管理委員会委員「現在に至る」 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平25.3まで」 人事委員会委員「平25.3まで」 教務委員会委員「平24.3まで」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の 社会における活動</p>	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成21年度 第5回京都新聞スクラップコンクール審査委員 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 平成22年度 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 (京都府宇治市) つくりもんコンクール審査委員 (富山県高岡市) 平成22年度 第6回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成23年度 第26回国民文化祭 全国田楽まつり企画委員会委員 (京都府宇治市) つくりもんコンクール審査委員 (富山県高岡市) 第7回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成24年度 第8回京都新聞スクラップコンクール審査委員 平成25年度 第9回京都新聞スクラップコンクール審査委員</p> <p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成 6年12月 現代風俗研究会理事「現在に至る」 平成11年11月 見世物学会理事「現在に至る」</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成23年 8月 「大道芸 演者と観客のかけひき」、アスニー・セミナー講師、於：京都アスニー</p> <p>(その他)</p> <p>平成24年 3月 フィールドリサーチオフィスによる「まちなみ巡り」ナビゲーター 平成24年 9月 講演「ちんどんの文化誌 ～路上の音曲の起源と現在～」、第8回「けいはんな文化カフェ」、於：けいはんな記念公園ビジターセンター 平成26年 3月 講演「大衆演劇の魅力 その“裏表”とおもてなし」、第12回「地域文化セミナー「関西の文化・芸能・まちづくりを考える」、於：追手門学院 大阪梅田サテライトセミナールーム</p>